関西自然保護機構会誌 *25* (*2*) : *117*－*118*, *2003*

近畿地方から絶滅した植物 14

村 田　　源

Extinct plants from Kinki District, Japan. 14. Gen Murata

サンネンモ（ヒルムシロ科）

Potamogeton biwaensis Miki

滋賀県大津市堅田（三木茂 17 XI 1925＊，北村四郎 15 VIII 1928）および小松（三木 17 VII 1927）で琵琶湖から採集された資料にもとづいて記載された。タイプは指定されなかったので，上記の三標本が syntype となる。Lectotype はこの三標本の中から選ばれることになる。京都大学総合博物館には標本が無い。三木茂博士寄贈腊葉標本目録（大阪市立自然史博物館収蔵資料目録第 10 集，1978）によると三木茂が琵琶湖で採集し，京大植物園で栽培した 1930，1931，1934 年の標本と共にシンタイプに相当する上記の 3 標本が記録されているので，これらの標本は大阪市立自然史博物館にあると思われる。今のところ琵琶湖にだけ記録されている日本固有の沈水植物である。

葉身は線形で長さ 3.5～5.5 cm，幅 3～6 mm，鋭頭，基部はやや細くなって筒状で茎を抱いている葉鞘の背面に合着している。上部の葉では葉鞘部（葉身の合着点から下）は 1～3 mm となり，葉舌状に長く伸びて斜開して立ち上がり，節間より長くなって先端は鋭く 2 浅裂する。三木の原記載（Miki 1934）には詳細な図があり，それによると葉身の縁には微細な鋸歯状の凸起がある。花被は 4 枚あり，おしべは 4 本。花が咲いても結実しないところから三木（1934，1937）や北村（1968）等は，センニンモとササエビモとの雑種であろうと推定しているが，角野（1994）は片親がササエビモと推定するに十分な根拠はないという。

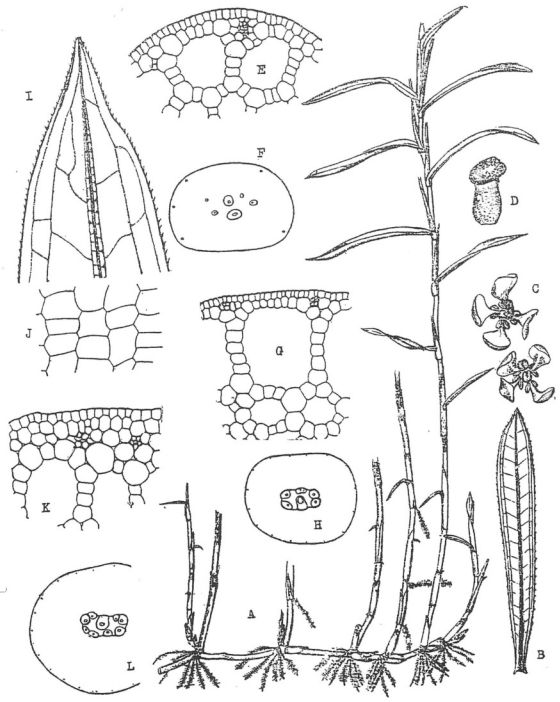


図 1．サンネンモ *Potamogeton biwaensis* Miki
A 全形. B 葉身. C 花. E, F 花柄の断面. G, H 花茎の横断面. I 葉端. J 葉の表皮. K, L 地下茎の断面図. 三木茂（1937）「山城水草誌」より引用.

＊原記載（Bot. Mag. Tokyo 48: 328）に 1825 とあるのは 1925 の誤植である。

関西自然保護機構業績　第 336 号

まだどこか琵琶湖の一部に残っていることを期待したいが未解決の多くの問題を残しつつ，地球上より姿を消してしまったと考えられることはまことに残念である。

引用文献

角野康郎. 1994. 日本水草図譜. 179pp. 文一総合出版. 東京.

北村四郎（編著）. 1968. 滋賀県植物誌. 362pp. ＋43pl. 保育者. 大阪.

Miki Shigeru. 1934. On Fresh water plants New to Japan, in Bot. Mag. Tokyo. **34**: 326－337.

三木茂. 1937. 山城水草誌. 京都府史蹟名勝天然記念物調査報告第 18 冊. 1～127＋3pl. 京都府.